

各関係機関・団体長 様

愛媛県病虫害防除所長

病虫害防除技術情報（第 5 号）の送付について

このことについて、次のとおりお知らせしますので、御参照の上、発生の確認と防除指導方よろしくお願ひします。

記

1 情報の内容 サトイモ疫病の早期発見と防除の徹底について

2 発生経過

令和 4 年 7 月 13 日、四国中央市においてサトイモ疫病の本年度の初発生を確認した（昨年は 7 月 20 日初発確認）。本病は、平成 27 年に県内での発病が初めて確認され、平成 28 年以降、発生地域は徐々に拡大している。

3 当面の防除対策

- (1) 圃場内での発生は周辺箇所から始まるが多いため、こまめに観察し、サトイモの中位葉から下位葉の発病有無を確認する。
- (2) 発病茎葉は早急に除去し、圃場外に持ち出し適切に処分する。
- (3) ジーファイン水和剤、ペンコゼブ水和剤による定期的な予防散布を行い、発病が認められた圃場では、直ちにダイナモ顆粒水和剤、アミスター20フロアブルを散布する（下表参照）。なお、サトイモの茎葉は水をはじきやすく薬剤が付着しにくいので、展着剤を必ず加用する。
- (4) 台風通過後に茎葉が損傷した場合にも発病茎葉を圃場外に持ち出し（袋に入れて密閉）、圃場内の菌密度を下げ、直ちに治療剤であるダイナモ顆粒水和剤、アミスター20フロアブルを散布する。

表 サトイモ疫病の防除体系モデル

【防除薬剤】	6月	7月		8月	9月										
	梅雨入り前	初発警戒期		蔓延警戒期 (発生増加注意)											
① ジーファイン水和剤	↓	↓	↓	↓	↓										
② ペンコゼブ水和剤	↓	↓	↓	↓	↓										
↓ ダイナモ顆粒水和剤															
↓ アミスター20フロアブル															
	<b>【使用時期別の防除薬剤と注意点】</b> ○梅雨入り前または梅雨明け後 <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>梅雨入り前</th> <th>梅雨明け後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①ダニ剤混用散布</td> <td>ペンコゼブ</td> <td>ジーファイン</td> </tr> <tr> <td>②単用散布</td> <td>ジーファイン</td> <td>ペンコゼブ</td> </tr> </tbody> </table> ○初発後 発病葉等を除去し、ダイナモ、次いでアミスターを散布 ○降雨が続くことによる多発前 応急的にダイナモを連続散布(但し、可能な限り「蔓延警戒期」まで温存すること)				時期	梅雨入り前	梅雨明け後	①ダニ剤混用散布	ペンコゼブ	ジーファイン	②単用散布	ジーファイン	ペンコゼブ	○発生増加前 ペンコゼブを散布  ○台風通過後 ダイナモ、次いでアミスターを散布  ○収穫前 軟腐病の予防対策も兼ねて ジーファインを散布	
時期	梅雨入り前	梅雨明け後													
①ダニ剤混用散布	ペンコゼブ	ジーファイン													
②単用散布	ジーファイン	ペンコゼブ													